2026 年 11 月 20 日

株式会社ＣＳＳホールディングス
代表取締役社長　水野　克裕
(コード番号：2304　東証スタンダード)

AI×ロボット×現場力で、サービスの未来を変えていく。
～TechMagic 社とのパートナーシップで挑む、新たなステージへ～

株式会社 CSS ホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：水野　克裕、以下「CSS」）は、2024 年 12 月に戦略的パートナーシップを締結した調理ロボットや業務自動化ソリューションで業界をリードする TechMagic 株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：白木　裕士、以下「テックマジック」）とともに、テックマジックの先進技術と CSS の現場ノウハウを融合させた飲食業務のオペレーション受託モデル「次世代型サービスソリューション」の立ち上げを進めています。
現在、その第一歩となる未来型食堂「MAGIC CHEF」の第 1 号店が稼働中。私たちが目指すのは単なる「作業の自動化」ではありません。調理などの定型業務をロボットが担い、スタッフは人にしかできないおもてなしに集中する。**人とテクノロジーが共生する、現場の新たな可能性の追求です。**
そして今、この現場で得たリアルなデータを糧に、さらなる AI 化・自動化の進化を目指した次なるステージへと動き出しています。



『次世代型サービスソリューション』の立ち上げに向けて、握手を交わす
テックマジック白木社長（左）と、CSS ホールディングス 野口代表（右）

■なぜ今、AI とロボットなのか？
私たちは長年、ホテルをはじめとするホスピタリティ産業の最前線で、BPO（業務委託）を通じたオペレーション改革に取り組んできました。
今、サービス業界が直面している深刻な人手不足。この課題に対し、テックマジックの先進技術と当社グループの現場運用ノウハウを融合させることで、「省人化による高収益な事業モデル」を構築します。さらに、現場のデータと AI を掛け合わせることで、これまで以上にスムーズで質の高いサービス体験をお届けします。



炒め調理ロボット「I-Robo 2」

■これからの広がり・取り組みのカタチ

創業以来の強みである「ホテル業界」での活用にとどまらず、さらに幅広いフィールドへ展開を進めていきます。

- **新しい市場・新しいお客様へ**
  市場の可能性を見極めながら、既存の枠組みにとらわれない新しい領域へ積極的にチャレンジしていきます。
- **「食」「洗浄」そして「おもてなし」があるすべての現場へ**
  ホテルはもちろん、テーマパークなどのレジャー施設、エンタメ空間での「調理」や「洗浄」といった作業領域をテクノロジーが支えることで、人が本来の強みである「おもてなし」に集中できる現場を増やし、「ロボット×人」が活躍する場を広げていきます。
- **どんな現場にもフィットする「仕組み」づくり**
  施設ごとに異なる課題やニーズに対応できるよう、標準的な運用モデルを体系化。スピーディで再現性の高い導入を目指します。



2026 年 5 月にオープンした「MAGIC CHEF」。
テックマジック×株式会社センダン（当社グループ）協業による「未来型食堂」1 号店。



完全キャッシュレスと自動計算に対応したスマートレジを導入。

■今後の見通し

テクノロジーと現場力の融合が創り出す、これまでにない「未来の現場体験」。 私たちが提案する新しいオペレーションモデルの具体的な成果や新たな展開につきましては、準備が整い次第、順次お伝えしてまいります。これからの展開に、ぜひご期待ください。

▶TechMagic 株式会社
https://techmagic.co.jp/
▶株式会社 CSS ホールディングス
https://www.css-holdings.jp/

<本件のお問合わせ先>
株式会社 CSS ホールディングス 経営企画室 03-6661-7840